

下水道広報用映像コンテンツ作成業務委託にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1. 案件名称

下水道広報用映像コンテンツ作成業務委託

契約期間：契約日から令和9年3月19日

2. 選定した委託予定事業者

株式会社デジアサ

3. 公募期間

令和8年6月29日から令和8年7月29日まで

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による評価の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略、五十音順）

委員氏名	所属・役職等
上田 祥澄	株式会社京阪神エルマガジン社 メディア事業部 部長
上善 恒雄	大阪電気通信大学 建築・デザイン学部 教授
長岡 裕	東京都市大学 名誉教授

(2) 選定会議の開催日

第1回 令和8年6月1日

第2回 1次評価：令和8年9月7日

2次評価：令和8年9月11日

(3) 評価基準

評価項目	評価の着眼点	配点
理解度	・本業務に対する考え方、実施方針において、事業の趣旨、目的を理解した提案内容となっているか。	20
企画内容の充実度	・児童でも理解できる分かりやすさを確保しつつ、幅広い年齢層の視聴に耐えうる表現や、演出となっているか。 ・下水道事業無関心層に対して興味・関心を喚起する内容となっているか。 ・「客観的な報道」・「知的好奇心と親しみやすさ」・「エンターテインメント」が、違和感なく組み合わせられているか。 ・最後まで視聴者を引きつけるストーリー構成や演出、表現となっているか。 ・民間企業ならではの、創意工夫やアイデアが盛り込まれた提案内容となっているか。	50
実現性	・業務実施体制は責任者及び人員が適正に配置され、提案内容を確実に実施できる体制となっているか。 ・実施手順や工程が記載され、実現可能な内容となっているか。 ・経費見積書は提案内容に見合う積算となっているか。 (※金額自体は評価対象としない)	25
類似業務実績	・令和2年度以降、映像コンテンツ作成業務の元請けによる契約実績(履行中のものを除く)が豊富か(実績数5つで満点とする)。	5
合計		100

(4) 評価を行った事業者(五十音順)

- ・株式会社 IDEAL
- ・株式会社 キャップエンターテインメント
- ・株式会社 水道産業新聞社
- ・株式会社 CeiRyu
- ・株式会社 テーク・ワン
- ・株式会社 トライアウト
- ・株式会社 デジアサ
- ・株式会社 ベイ・コミュニケーションズ
- ・サクラインターナショナル株式会社
- ・佐川印刷株式会社
- ・JCOM マーケティング株式会社
- ・阪急阪神マーケティングソリューションズ株式会社

全 12 者

(5) 評価の結果（選定委員の評価点の合計点（高い順））

① 1次評価結果（書類審査）

(点)

評価項目	A 者	B 者	C 者	D 者	E 者	F 者
理解度	39	36	35	37	40	33
企画内容の 充実度	106	111	105	103	93	109
実現性	53	50	48	47	47	36
類似業務実績	15	15	15	15	15	12
合計	213	212	203	202	195	190

評価項目	G 者	H 者	I 者	J 者	K 者	L 者
理解度	38	37	28	34	34	30
企画内容の 充実度	89	89	93	83	80	70
実現性	47	43	38	40	38	43
類似業務実績	15	15	15	15	15	15
合計	189	184	174	172	167	158

② 2次評価（プレゼンテーション）※事業者番号は再付番

（点）

評価項目	A 者	B 者	C 者	D 者	E 者	F 者
理解度	43	46	44	42	37	41
企画内容の 充実度	114	108	103	105	96	103
実現性	49	47	52	48	47	34
類似業務実績	15	15	15	15	15	12
合計	221	216	214	210	195	194

（6）選定結果及び附帯意見

上記のとおり提案者は12者であり、評価の結果、合計点が最も高く、かつ選定委員の評価点の平均が60点以上であるため、株式会社デジアサを本事業の委託予定事業者として選定する。

（附帯意見）

- ・仕様書では、大阪市の技術力・先進的な取組の発信などの作成コンテンツとして、多様なご提案をいただいているが、効果的に分かりやすく情報を伝えるため、フォーカスする分野、表現内容、表現方法について、発注者との対話・協議を丁寧に行うこと。
- ・子ども向けに偏らない構成とし、ドキュメンタリー性を加味すること。
キャラクター利用のポイントやバランスについても、発注者との対話・協議を丁寧に行い、幅広い年齢層に訴求できる構成とすること。